

Peleliu Pride

ペリリュー・プライド

代表
ウィルヘルム・ギルゲサン

副代表
エリック・クロールバック

主な活動内容

- 困窮者への援助
- 家の修繕
- 周辺地域の清掃
- 若い世代への指導
- ペリリュー州職員および州知事との協力
- 維持管理(ペリリュー米海兵隊のモニュメント、日本神社、旗竿の土台の修復など)

設立背景

現代表のウィルヘルム・ギルゲサン副代表のエリック・クロールバックが、誇り高きペリリュー人の教訓を活かし、地域社会と住民に支援を通して恩返しをしたいという考えのもと活動を開始。団体名は、彼らの小さな島への大きな誇りを表している。2022年12月20日に正式にNGOとなる。

活動目的

高齢の未亡人、寝たきりの住民、ハンディキャップ抱える人など、さまざまな恵まれない方々の「助けの手」となり、地域社会を支援し、州政府のためにコミュニティのメンテナンスを行う。

メンバーからの声 エリック・クロールバック副代表

私たちは、退職後に独身の年配の女性の家の修理をしていました。そのうちに、私たちが暮らすペリリュー島では、このような案件が決して珍しい事ではなく、誰かの助けを必要とする人がたくさん居ることを知りました。そして、その人達に手を差し伸べていくうちに、私たちの活動は次第に大きくなっていきました。

長期的なビジョンは、我々のコンセプトである「Helping Hands(助けの手)」を維持するために、効率的なデータ収集を行い、貯水池や雨樋やごみ集積所の修理、廃車になった車両のレッカー移動など、地域社会の環境整備などで援助を必要とする人々へ支援を供給し続けることです。この目標を達成するには助成金を得たり、JICAやペリリュー州政府、地域の様々な組織と提携して活動する必要があります。

また、地元の漁師が地元の市場で漁獲物を販売できるようにしたいと考えています。人口の多くが集まるコロール州にペリリューの物産を安定的に届けるシステムがないため、その販路を構築し地元の生産者の支援することも、私たちの活動の将来の展望です。これにより、若い世代も含め、ペリリューで暮らす人々がより一層豊かに生活していけるのです。

私の刑事司法とカウンセリングの経歴と、代表のウィルヘルムの建設業や溶接業の経歴を活かし、地域社会を支援とメンテナンス活動を若者たちに指導しながら行ってきました。個人から州政府と幅広いニーズがあり、そのニーズに応えられたときに、非常にやりがいを感じます。私たちは、解決策の一つとして常に支援を求める人に寄り添っているのです。

Contact Information

 (680)779-6886

 erickloulubak@gmail.com